

学校教育目標	ダイバーシティDIVERSITY上飯田中				
	か のうせい【知】 み とめあい【徳・公】 い ぶんか【公・開】 い のち【体・徳】 た くましく【体】				
学校概要	創立 42 周年	学校長 相澤 順	副校長 井上 昌典	3 学期制	一般学級：8 個別支援学級：3
	児童生徒数： 284 人		主な関係校：上飯田小学校、飯田北いちよう小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	上飯田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 心身ともにたくましく生きる力 グローバル化の中で生きる力	上飯田中学校 上飯田小学校 飯田北いちよう小学校	基礎基本を大切にし、地域とともに多様性を認める力 ・ブロック内授業交流会開催による小中一貫カリキュラムの推進をする。 ・児童生徒交流会等を通じた多文化共生への理解と発信をする。 ・人権教育推進地域校での講演会による地域理解と外国籍等児童生徒の理解を図る。

中期取組目標	○「チーム上中」として、全職員で安心安全な楽しい学校づくりを目指します。
	・基礎・基本の定着のため、生徒が主体的になる授業実践と個に応じた指導の充実に努めます。 ・自己肯定感を育むため、多様性の尊重を柱とした人権教育と、生徒が主体の活動を推進します。 ・地域社会の一員であることを自覚し、地域活動等に積極的に参加し、貢献できる心を育みます。 ・意欲や向上心の育成と、学校生活の安心安全のため、丁寧な生徒理解と生徒指導に努めます。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①小中ブロックや学力向上委の授業研を中心に、生徒が主体的になる授業を実践・研究する。 ②国際教室や特別支援教室に、多くの教員や通訳支援・学習支援ボランティア等がかかわる。 ③英語や数学を中心に少人数・TTの授業を行い、「個に応じた指導」の充実・推進を図る。
担当 学習指導部	
豊かな心	①道徳の授業や国際理解・人権学習、ふれあい体験学習等を充実させ、人権教育を推進する。 ②体育祭や文化祭等の行事や活動を通して、生徒が主体的に活躍できる場を沢山つくる。 ③年数回、生徒会を中心に「上飯田中挨拶運動」を実施し、気持ちのよい挨拶ができるようにする。
担当 国際人権・特活指導部	
健やかな体	①保健体育や部活動などを通し、体力や技能向上に向け、自ら考え実践する生徒を育てる。 ②生徒主体の「お弁当コンテスト」と、歯科巡回指導を実施し、食生活や健康への意識向上を図る。
担当 保健指導部・保健体育科	
児童生徒指導	①教育相談(年3回)や三者面談(年2回)等を充実させ、生徒・保護者と良好な信頼関係を保つ。 ②生徒指導専任や部長を中心に情報共有し、組織的で迅速・的確・きめ細かに指導等に当たる。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①特別支援教育推進委員会等で情報交換を適宜行い、特性に応じた指導支援の充実を図る。 ②カウンセラーやブロック内小学校、関係機関と密に連絡を取りながら、適切な支援方法を探る。 ③発達障害やユニバーサルデザイン等に関する研修を行い、教職員で理解を深める。
担当 特別支援教育推進委員会	
地域連携	①地域行事等に多くの生徒が、意義を自覚して積極的に参加できるようにする。 ②学校運営協議会の設置(R2年度後半)に向け、地域や関係小学校と協議しながら準備する。
担当 学家地連事業担当	
いじめへの対応	①教育相談や生活アンケート等より細かな変化を見逃さない体制をつくり、早期発見・対応に努める。 ②いじめ防止対策委員会を定期的(月1回以上)に実施し、いじめの認知や未然防止の検討を行う。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①学力向上委員会(メンターチーム)を定期的に開催し、経験の浅い教員の指導力や対応力の向上を目指すとともにミドルリーダーの育成も図る。 ②職員定数減が続く中で、組織の連携や見直しを引き続き行い、校内組織等の機能化やスリム化を確立する。また、諸会議は目的を明確にし、短時間で効率のよい運営に努める。
担当 学力向上委員会・教務部	